

バイオテクノロジー研究会

◆バイオテクノロジー研究会全体

1, 2 月	<p>1. 第 1 回部会開催 (2/15)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度活動の決算と本年度予定 ・ ERA 調査報告書第 9 号用発刊に向けての勉強会 <p>2. 本部総会出席 CERA と 5 月の国際シンポの打ち合わせ</p>
3, 4 月	<p>1. 第 2 回部会開催 (4/15)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本年度予定 ・ ERA 調査報告書第 10 号用発刊に向けての勉強会 <p>2. 5 月の国際シンポ</p>
5, 6 月	<p>1. 第 3 回部会開催 (6/19)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シンポジウム報告 ・ ERA 調査報告書第 11 号用発刊に向けての勉強会 <p>2. 本部部长に部会の活動について報告</p>
7, 8 月	<p>勉強会開催 (8/26)</p> <p>“The International Workshop on Comparative Approaches to Safety Assessment of GM Plant ” (SENASA 主催、ILSI IFBiC および ILSI アルゼンチン共催) に関する勉強会</p>
9, 10 月	<p>1. 部会開催 (9/19)</p> <p>ERA 調査報告勉強会</p> <p>2. ワークショップ開催 (10/15)</p> <p>「植物の新育種技術に関するワークショップ：規制面からの考察および検討」(Station Conference Tokyo)</p> <p>Dr. Maria Lusser(EC), Dr.Gary Rudgers(Dow Agro.), Prof. Nobuyuki Yoshikawa (Iwate U), Prof. Andrew Bartholomaeus(U. Canberra), Prof. Masashi Tachikawa (Ibaraki U.)</p>
11, 12 月	<p>1. 部会開催 (11/7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ERA 調査報告勉強会 <p>2. 本部要請によるオタワシンポジウムへの参加学者の推薦</p>

【植物研究部会】

*** 環境リスク評価分科会**

1, 2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ERA プロジェクト調査報告第 8 号 (FEB 2013 号) 発刊。 ・ ERA 懇談会開催 2/18 <p>5 月国際シンポ・ワークショップについて CERA との了解をふまえ検討</p>
3, 4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ERA プロジェクト調査報告第 9 号 (APR 2013 号) 発刊。 ・ ERA 懇談会開催 4/3 <p>5 月国際シンポ・ワークショップについて CERA との了解をふまえ詳細設計。募集開始。</p>
5, 6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ERA プロジェクト調査報告第 10 号 (JUN 2013 号) 発刊。 ・ ERA 懇談会開催 5/20 ・ 国際シンポ・ワークショップ開催 (5/24・25) <p>シンポジウムは 96 名で内外の環境安全性の実際について討論した。また、ワークショップはそれをふまえて専門家による解析を行った。</p>
7, 8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ERA プロジェクト調査報告第 11 号 (AUG 2013 号) 発刊。

	・ ERA 懇談会開催 7/1,8/19
9, 10 月	・ ERA プロジェクト調査報告第 12 号 (OCT 2013 号) 発刊。 ・ ERA 懇談会開催 9/27
11, 12 月	・ ERA プロジェクト調査報告第 13 号 (DEC 2013 号) 発刊。 ・ ERA 懇談会開催 11/11

*** アレルギータンパク質の分析方法分科会**

1, 2 月	特になし
3, 4 月	特になし
5, 6 月	特になし
7, 8 月	特になし
9, 10 月	特になし
11, 12 月	特になし

*** 組換え体検知法分科会**

1, 2 月	特になし
3, 4 月	特になし
5, 6 月	特になし
7, 8 月	特になし
9, 10 月	特になし
11, 12 月	検知法関連の動きの解説